

2011年度

科目名	地域研究実習Ⅱ（事前事後の指導含む）				
担当教員	安田 正純				
配当	人社3			コード	80098
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数	3
授業テーマ	(A) 垂直的学び(専門知識を深める)、(B) 水平的学び(視野を広め、人とつながる)、(C) (基盤的学び(読み書き・PC操作能力を高める)				
目的と概要	「地域研究実習」は、学生それぞれが実習先(市役所やNPO/NGO、法律・会計事務所、民間企業、図書館、スポーツ施設など)を選択、あるいは自らビジネス等を企画し、80時間以上の実習を体験する中で起こる様々な学びを獲得する科目である。				
成績評価法	実習前の研究20%、実習中の様子を記した実習受入先からの評価表20%、実習後に行う振り返りの結果を踏まえて執筆する報告書30%や発表10%、受講態度20%等を総合的に判断する。				
テキスト					
参考書					
履修に当たっての注意・助言/準備学習	<注意事項> 1. 人間社会学部には多岐にわたる実習先を記したリストがあるので、実習先の選択はこのリストと担当教員のアドバイスを参考にしながら決めてください。 2. 実習中、何か困ったことがあればすぐに担当教員に連絡をするようにしてください。 3. 実習受入先では、挨拶をする、遅刻・無断欠勤はしないなどといった社会的なマナーを遵守しながら行動してください。 4. 本学の学生は、南大阪地域大学コンソーシアムが提供するインターンシップ制度も利用することができるので、特にビジネスの現場を見てみたい学生は共同研に相談するようにしてください。他大学の学生とともに受ける事前研修なども含めて大きな刺激になるであろう。 5. 健康運動指導士の資格取得を希望する学生がスポーツジムでの実習を行うなど、一定の条件を満たせば、当該科目をこの資格に必要な「健康産業施設等現場実習」にかえることができるので、かならず指導教員に相談するようにしてください。				
講義計画					
<スケジュール・内容> 個々人によって地域研究実習の日程は異なるが、基本的には以下のようなスケジュールを想定している。 1. 「地域研究実習」全体説明会（4月初旬）＆「地域研究実習」受講者向けオリエンテーション（4月下旬ー5月上旬） 2. それぞれの担当教員による指導のもと、各自実習計画書を作成しつつ、各自実習先について事前研究を開始（4月） 3. マナー教室（6月ー7月ごろ） 4. 各自実習を実施しながら、実習日誌作成（実習は夏休み中の8ー9月を原則とする） 5. 報告書作成教室（9月下旬ー10月ごろ） 6. 実習受け入れ先からの評価送付（10月） 7. 各自、報告書『SHARE』の完全原稿を11月30日までに指導教員に提出（完全原稿とは、指導教員によるコメントを得て、学生が書き直したもので、そのまま印刷業者に提出できる原稿を言う。なお、守秘義務契約を結んだ受入先で実習を行った学生は締切前までにかならず受入先とコンタクトを取り、了承を得ておくようにしてください） 8. 総合評価による成績（2月）					